

シリーズ②

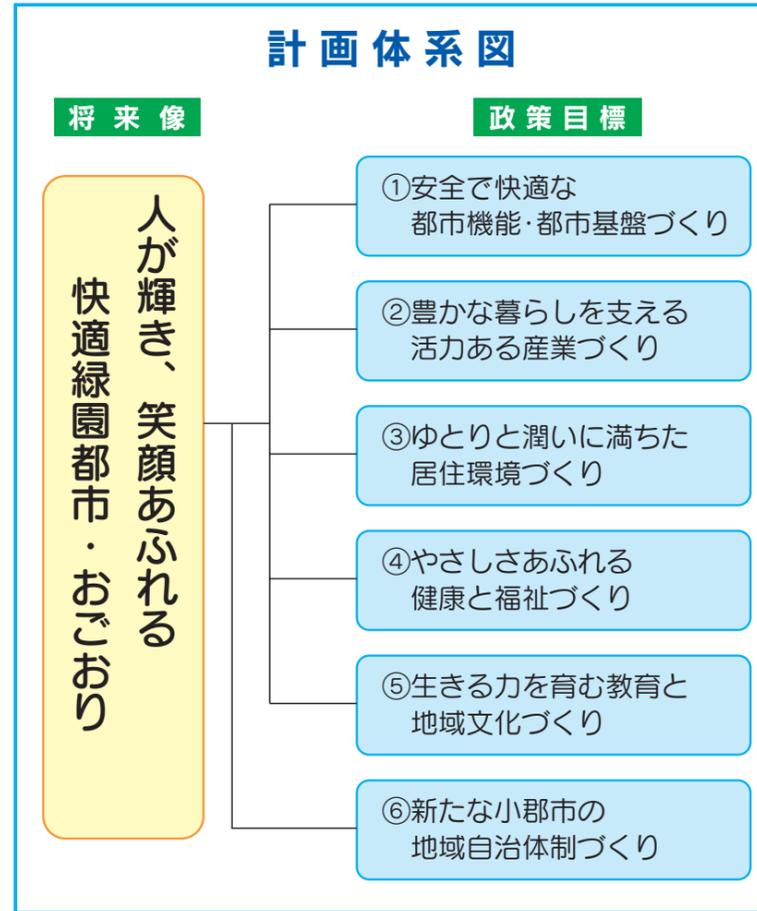
『第5次小郡市総合振興計画』
を策定しました

はじめに

シリーズ①（広報4月1日発行）では、3月に策定した「第5次小郡市総合振興計画（平成23年度～32年度）」の役割と構成・期間、基本理念、

将来像、目標人口、6つの政策目標の項目についてご紹介しました。今回のシリーズ②では、将来像の実現に向け設定している6つの政策目標の概要をご紹介します。

計画体系図



6つの政策目標の概要

①安全で快適な都市機能・都市基盤づくり

自然と共生した潤いのある居住環境づくりのために、調和のとれた適切な土地利用に努めます。また、農村型都市と住宅型都市からなる本市の特徴を活かした都市機能・都市基盤の整備を進め、市民生活の利便性の向上を図ります。さらに、消防・防災体制などの整備を進め、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。



▲消防出初式

②豊かな暮らしを支える活力ある産業づくり

交通利便性の良好な本市の特性を

活かした産業振興を図ります。新規企業の進出基盤の整備や支援施策の充実に努め、企業誘致を推進し、雇用の安定・確保に取り組みます。また、農地の集約化に努めるとともに、意欲ある多様な担い手の育成・確保へ向け関係機関と連携し取り組みます。さらに、大規模商業集積施設の早期開業を要請するとともに、農商工連携を模索していきます。



▲筑後小郡インターチェンジ周辺

③ゆとりと潤いに満ちた居住環境づくり

花立山や宝満川などの豊かな自然環境や田園風景の保全を図るとともに、循環型社会の実現に向けて環境衛生対策や上下水道の整備を進めていきます。また、住宅地・公園などの生活環境の整備・充実に努めるとともに、緑地の保全を図り、誰もが

住みやすく、住みたくなる居住環境づくりを進めます。



▲城山公園（花立山）

④やさしさあふれる健康と福祉づくり

少子高齢化の進展に伴い、子どもから高齢者まですべての市民が健康で安心して暮らせる社会を目指し、介護保険などの各種制度の運用を推進するとともに、保健・医療・福祉・介護の連携した取組みを進めていきます。また、次代を担う世代を育み、安心して子育てができるよう様々な施策を展開するとともに、人々のつながりをお互いが大切に、「小郡に住んでいて良かった」といえるすべての人にやさしい環境づくりを進めます。

⑤生きる力を育む教育と地域文化づくり

子どもたち一人ひとりが自ら個性を発揮し、困難な場面に立ち向かい、未来を切り拓いていく「生きる力」を育成するために、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた育成ができる教育の推進に努めます。さらに、生涯学習やスポーツの振興、文化・芸術などの保存・伝承に努めるとともに、国際交流や男女共同参画社会の実現などにも積極的に取り組みます。



▲健康運動リーダーの活動の様子

⑥新たな小郡市の地域自治体制づくり

市民のまちづくりに対する参画意識の向上を図り、積極的な情報公開や参加機会の拡充に努めながら、市

民との協働によるまちづくりを推進します。また、これまでの行政改革を時代に適合したものに革新しながら引き続き進めるとともに、状況の変化を見極め、施策を実行できる人材の育成や組織体制の整備に努めます。今後、複雑多様化する行政諸問題に対応していくために、近隣自治体との広域連携に努め、地域の活性化や行政事務の効率化を一層推進します。さらに、行政評価システムの運用により事務事業の見直しや施策の重点化を図り、第5次総合振興計画の適切な進行管理に努めます。



▲第5次総合振興計画策定に係る市民ワークショップ

第5次総合振興計画の新たな取組み

基本計画では、6つの政策目標を達成するために、39の分野項目ごとに現状と課題を分析し、基本目標や

主要施策を定めています。また、新たな取組みとして、計画の進捗状況を客観的に把握するために「成果指標」を設定し、市民の皆さんに取り組みいただきます。まずは身近な項目から取り組みを始め、市民・地域・行政が一体となって、「市民との協働によるまちづくり」を進めていきたいと思います。

おわりに



本計画策定にあたり、熱心に議論いただいた審議会委員の皆様、関係団体及び多くの市民の皆様に関心をお礼申し上げます。

今後は本計画の実行へ向け、市民の皆様とともに努力してまいりますので、より一層のご理解、ご協力とまちづくりへの積極的な参画をお願いいたします。

※本計画（全体）につきましては、市ホームページに掲載しています。

●問い合わせ先

企画課企画政策係
☎72・2111（内線224）